

産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業

(国の拠点類型：アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援)

富山商業高校

(事業計画の概要)

アントレプレナーシップとAI・データサイエンスを
武器に、本県産業の基盤を支え、未来を切り拓く
人材の育成

～実践×デジタルの“アドバンスト商業”の展開～

- ・ 商業科 6 クラス／学年
- ・ 在籍生徒数

学年	流通ビジネス	ビジネス マネジメント	会計ビジネス	情報ビジネス	計
1	8 0	4 0	4 0	8 0	2 4 0
2	7 8	3 9	4 0	8 0	2 3 7
3	7 9	3 8	4 0	7 6	2 3 3
計	2 3 7	1 1 7	1 2 0	2 3 6	7 1 0



取組みの概要

1 クロスカリキュラムでの学習

～企業等での実習プログラム+校内店舗型施設での経営学習

商業系専門科目等の校内での授業、企業等での実習プログラム、校内店舗型実習施設での経営学習による「実践知の循環」が可能なカリキュラムの展開

〈企業等との実習プログラム〉

- 1 年生：「地域ビジネス探究」
①企業等による産業最前線研究
②企業の現場体験（インターンシップ）

- 2 年生：「総合実践」
①長期企業等実習
②課題解決のためのプロジェクト提案（商品・サービス企画等）

- 3 年生：「課題研究」
①企業等との共創による商品・サービス制作
②DXによる業務効率化の提案・実証

〈店舗型実習施設での経営学習〉

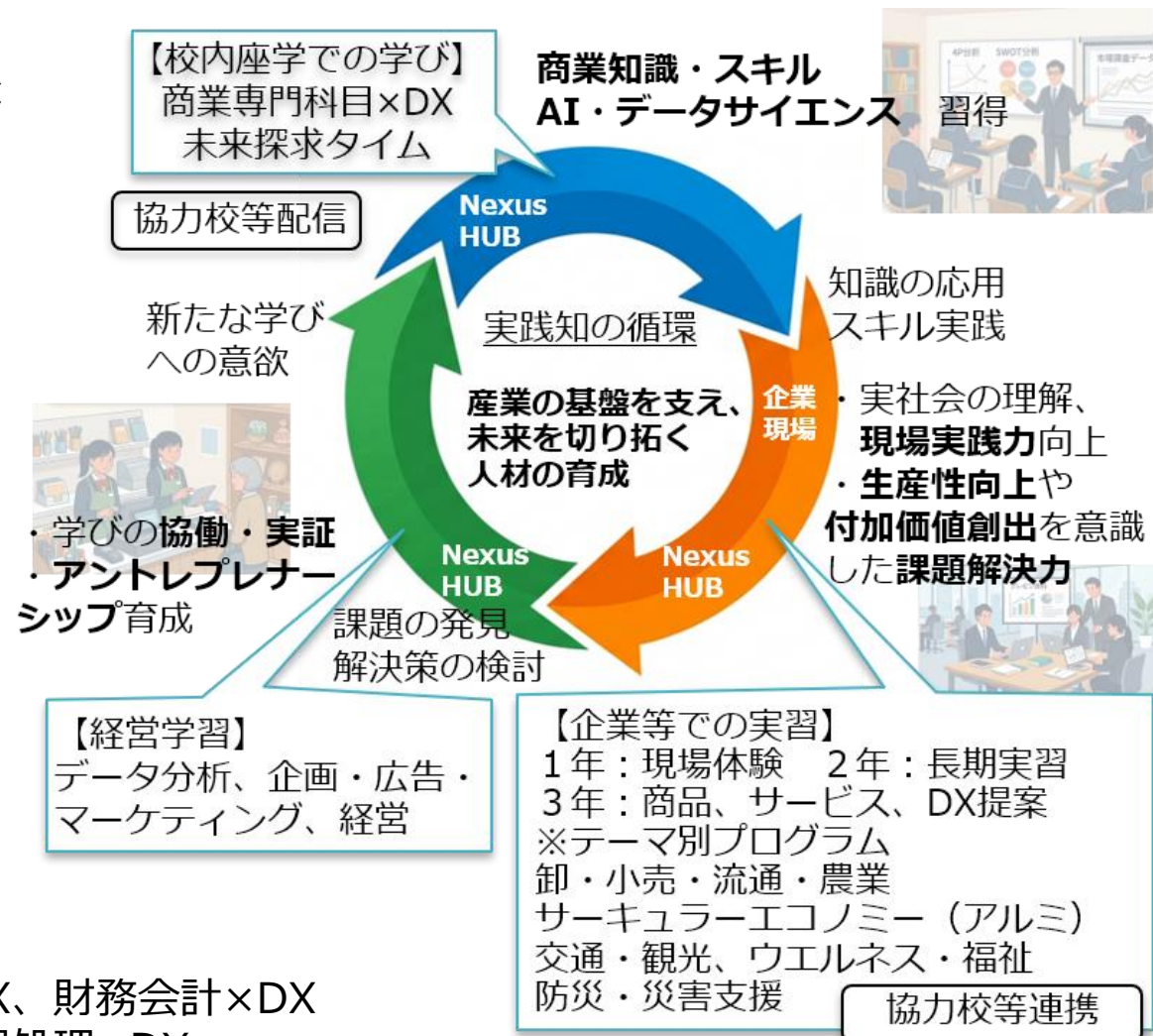
接客・販売、在庫管理
データ分析等

マーケティング、商品企画、
広告等

経営目標設定・評価等

2 専門科目の改革～アドバンスト商業教育の展開～

プロセス・チェンジ（生産性向上）系：ビジネスマネジメント×DX、財務会計×DX
バリュー・チェンジ（価値向上）系：マーケティング×DX、情報処理×DX



3 現場での実践と主体的な学びにより生徒の自己実現を支えるカリキュラム構築

- 企業等との協働による現場実習等を展開できるクロスカリキュラムの構築のため、毎週1回6時限を丸ごと実践的な学びに活用する「**CROSS共創DAY**」を創設
※年2回1週間を実践的な学びの成果共有にあてる**共創WEEK**も設置
- 教育課程の時数削減と柔軟化による自主活動促進「**未来探求タイム**」※の新設
※生徒の興味・関心、進路希望等も踏まえ、専門的な科目、先取り学習、資格取得に向けた学習、部活動と関連した取組みなどの自主活動を促進
(科目例) 地域共創マーケティング、スポーツビジネス探究、ビジネス外国語、スタートアップ実践、AIとビジネス戦略 など

<時間割のイメージ> 週25単位を想定した時間割（1～3年次） ○：共通教科 ◎：専門教科

	月	火	水	木	金
1限	○	○	◎CROSS 共創DAY	○	○
2限	○	○		○	○
3限	○	○		○	○
4限	○	◎		◎	◎
5限	◎	未来探求タイム		未来探求タイム	◎
6限	◎	未来探求タイム		未来探求タイム	H R

4 新たな学びのための拠点「TOYAMA Nexus HUB」の整備

商業教育の高度化のための設備を備えたスペースや、企業、大学、地域等の知の交流・共創を生み出す拠点

(1) 探究ルーム（既存校舎の部分改修）

可動式椅子、電子黒板等を備え、アドバンスト商業教育や未来探求タイムでの学科横断によるシームレス・協働的な学びを実現

(2) データサイエンスルーム（既存校舎の部分改修）

データ活用学習やアプリ・コンテンツ制作等のため、ハイスペックPC等のデジタル機材を活用したデジタル実習を実施

(3) Nexusルーム（既存校舎の部分改修）

外部講師による専門的な授業・実習を配信するスタジオ機能を備え、協力校等に配信

(4) クリエイティブ・ラボ（新設）

①共創エリア

企業、大学、地域、協力校、外部専門家等と連携した創造的な課題研究等の実習プログラムの展開のため、ワークショップ、ディスカッション等を実施

（多様な人との交流を促すコミュニティ・スペースとしても活用）

②店舗型実習エリア

昼休みや放課後、CROSS共創DAY等を中心に店舗運営を行い、経営学習を実施

（デジタル技術を活用した省人化の店舗形態に向けた課題解決等の実習も実施）

取組みの概要

5 推進体制

(1) 富山商業高校「アドバンスト商業科」推進プロジェクト会議（仮称）

学校、県教委、大学、地元産業・行政関係者等による定期的な会議

→ 企業連携の取組みや課題テーマ別プログラム、店舗経営学習等について、計画的・継続的に協議

(2) 各種コーディネーターの配置

- ・ 商業実践教育コーディネーター（企業等実習プログラムの円滑実施）
- ・ デジタル教育推進アドバイザー（DXを活用した教育活動の基盤構築）
- ・ 店舗経営学習サポーター（店舗型実習施設での経営学習のサポート）
- ・ Nexusコーディネーター（企業、大学、地域等との交流促進、広報・普及活動等）

6 取組み・成果の他校への普及

協力校との連携・協働

協力校：高岡商業高校、中央農業高校、南砺福野高校、
富山工業高校、高岡工芸高校

- ・ テーマ別プログラムの課題解決策の検討や成果報告等のため、オンライン意見交換やワークショップ等の実施、施設の共同活用等
- ・ 店舗型実習施設での生徒が開発した商品等学びや共創の過程の情報発信、研究発表会等での生徒による学習成果の発信 等

7 改革の目標

指 標 の 例	R10目標	R13目標
地元企業との共創プロジェクトの年間実施数	15件	20件
「テック・スキル」の評価が高い生徒の割合	40%	70%
課題テーマ別プログラムでの協働校数	5校	10校

8 目指す成果

- AI・データサイエンス教育や、企業連携によるアントレプレナーシップ育成・実践力向上を強化した学びの変革
- 生産性向上をリードする「プロセス・チェンジャー」、新たな価値創造をリードする「バリュー・チェンジャー」の育成
 - ・マーケティング・経営・会計等の専門力
 - ・失敗を恐れず主体的に挑戦し改善する起業家精神
 - ・課題発見・分析力
 - ・データ・AI等のデジタル活用力
 - ・アイデアを形にする企画・実践力
 - ・企業等と協働して解決するコミュニケーション力